

# 子育て世代包括支援センター事業

## (たかはし版ネウボラ)

高梁市の子育て支援がさらにパワーアップして、妊娠期から子どもの就学までサポートします。



妊娠

誕生

乳児

幼児

**不妊・不育治療費助成**  
不妊・不育症にかかる治療費の一部を助成  
☎健康づくり課 ☎(21)0267

**ママサポ電話・ママサポベビー電話**  
妊娠前期・後期・出産後を電話でサポート(P4)  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**プレママ相談・育児相談**  
妊娠時から相談を伺い子育てを支援(P7)  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**産婦健康診査**  
産後2週間・1ヶ月に使用できる助成券の配布(P5)  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**産後ママ安心ケア**  
出産退院後の医療機関や助産院、保健師による相談や診察(P6)  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**産後ヘルパー**  
出産直後のお母さんの生活を支援  
☎こども未来課 ☎(21)0288

**ファミリーサポートセンター**  
地域の人が子どもを預かる  
☎子育て支援センター ☎(22)2450

**離乳食教室などの各種教室**  
乳児の保護者を対象にした離乳食の調理実習など各種教室を開催  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

※それぞれの制度に要件があります。詳しくは担当課までお問い合わせください。

**風しん予防接種費用助成**  
麻しん風しん混合・風しん予防接種料を一部助成  
☎健康づくり課 ☎(21)0267

**妊娠届・母子健康手帳交付**  
妊娠期から就学まで担当保健師がサポート  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**妊婦歯科健診**  
妊娠中に無料で1回歯科健診を受けることができる  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**ママ・サポート119**  
妊婦を出産時・緊急時に救急車で搬送  
☎健康づくり課 ☎(21)0267

**赤ちゃん訪問**  
妊産婦、乳幼児などを対象に家庭訪問を実施(P4)  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**子ども医療費助成**  
生まれてから満18歳までの児童について医療費の自己負担分を助成  
☎こども未来課 ☎(21)0288

**ママサポ保健師**  
子育て支援センターのママサポ保健師が相談に応じる  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

**乳幼児健康診査**  
子どもの成長・発達を健康診査で確認  
☎健康づくり課 ☎(21)0228

※各種相談・健康診査の日程は「広報たかはし・子育て支援情報」をご覧ください。

※ネウボラとは、妊娠から出産、就学前までの子育てを支援する目的で地方自治体が設置・運営する拠点や支援制度のことを意味するフィンランド語

**ネウボラ連絡会**  
切れ目のない支援体制の充実  
市では、平成29年4月に開設した子育て世代包括支援センターが中心となり、「たかはし版ネウボラ」を目指す事業を展開しています。その一環として、平成30年度に「ネウボラ連絡会」を開催しました。同連絡会では、子育て支援に関わる関係機関(医療機関・保健所・市)が集まり、妊娠期から就学までの子どもの健やかな成長・発達を見守り、子育て世代の家族全体の心身のサポートを目指して話し合いを行っています。



会議の様子

関係機関との連携を強化していく  
会議の中で、国や県における産後ケア体制整備についての動きや考え方、市の取り組みや現状、課題などについて意見が交わられました。市内の全ての母子に密接に関わっていくためには、関係者が情報共有できる仕組みが必要であり、連携強化が大切であることを再確認しました。このような連絡会を引き続き開催し、切れ目のない支援体制の構築に取り組んでいきます。

**連携と体制の充実を**  
市内の分娩施設がなくなったことで、妊娠・出産・子育てに不安を感じているという声を聞いたこともありました。昨年度妊娠・出産した方を対象に実施した聞き取り調査では、不安を感じた方は少ないという結果でした。このような結果を支えているのは、市内外の産科関係機関と行政との連携体制だと思えます。ネウボラ連絡会は、地域の産科・小児科・行政の関係者が全員

**楽しい子育てをサポート**  
「ネウボラ」という制度は、吉備国際大学保健福祉学部の高橋睦子教授によって日本に紹介されました。現在、高梁市でもネウボラの取り組みを進めています。妊娠したときから子育てを終えるまで、保健師や産科医・小児科医、吉備国際大学保健福祉学部の教授・学生や愛育委員の皆さんが子育てを応援します。これから高梁版ネウボラのことをさまざまな角度から紹介してい

そろっており、岡山市や倉敷市のような都市部では実施することが難しいものです。この会を通じて、さらに連携が進み、高梁市ならではの細やかな母子保健体制が作られていくことを期待しています。



かわい むつこ 川井 睦子さん (備北保健所 所長)

く予定です。高梁市で子育てして良かったという思いをみんなで見たい、未来を託せる子どもたちを育てるために、1人で子育てをするのではなく、家族や私たちと共々に泣いたり笑ったり驚いたりできる楽しい子育てをしましょう。



なかだ えいそう 仲田 永造さん (高梁医師会 会長)